

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、11～19℃台を示し、やや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――月夜間とシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり25トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバが1日1統当たり20トンの水揚げで、前週の69%（前年並み）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり526kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ササイカなどが1日1統当たり31kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり75kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、カマスが1日当たり69kgの水揚げで、前週の46%（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（2/25～2/27）の沖合イカ釣（船凍船）は、今月末漁期終了に伴い、大半が切上げた。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、山陰沖で試験操業が行われた。

鳥取県西部（沖合船）は、1日延3隻、総計66箱、1航海最高24箱、平均22箱。スルメイカ（20～30入）8箱、ヤリイカ（2～4立）58箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第8-4号 五島灘・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>